

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:6(パート含む) 回収数:6 割合:100%

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	・チームとして考えて補ってあげたい ・仕切りカーテンなど利用時に応じた空間の確保をしている	
	2	職員の配置数は適切である	5	1	0	・みんなで補う ・児童指導員の人数が不足傾向有 幼児の利用もあることからサブの配置を増やしても良いのでは？	配置基準を満たした職員数ではありますが、急遽の休みが出た場合サブの対応が難しいことある為、職員の配置方法については不測の事態に対応できるよう配慮いたします。 職員の募集も引き続き行っております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	0	視覚刺激優位の利用児に対して、絵カードや動作を取り入れた対応も必要では？	種目カードの他、絵カードを使ったコミュニケーションツール(「トイレへ行きたい」「お水を飲みたい」)も導入しております。視覚的なモデリングが必要なお子さんについては担当コーチを中心に取り入れるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	0	・常に空気の入替えをされており、トイレも3か所に設置している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	0	時間的余裕がないためだが、振り返りや事前準備がままならない事がある。	メイン・サブコーチで内容について振り返りを行っています。レッスンの終了時間によっては次のレッスンが始まる場合があるので、時間通りにレッスンを開始・終了できるよう心がけます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	アンケートのみならず日ごろから保護者とのコミュニケーションの中で日々改善に努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	0	室内に掲示したり、WEBで公表	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	0	外部評価をしているか確認していません。	現在、既に第三者委員会を設置しております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	月一で研修会を持っているが、それ以外にもレッスン後などで互いに相談・アドバイスをを行っている。	
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	0	アセスメント以外にも日々のコミュニケーションの中でニーズや課題の把握に努めている。		

**児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)**

公表:令和6年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:6(パート含む) 回収数:6 割合:100%

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	0	標準化された用紙を使用。	モニタリングで使用する様式を用いてアセスメントを行っております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	0	ガイドラインを管理者・児発管を中心に把握している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	0	・児童を中心に置く。 ・常に支援計画を確認しながらレッスンをを行い、適切な支援が行われるように努めている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	0	個々のプログラムを担当が主に立案・チームで実施している。	レッスンをメインで担当するコーチをフォローできる体制を改めて確認しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	本やインターネット・情報交換などを活用し固定化しないよう努めている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	0	個別支援・グループレッスンなど様々な形態をとっている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0	時間的余裕がないのもあるが、職員間でじっくりと確認しているかは不十分と感じる。	特に小集団レッスンを行う際には担当職員を中心に事前の打ち合わせを行っていますが、今後も職員間で声かけし、事前の打ち合わせを行います。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0	全ての支援についての振り返りを全体でやるには時間的余裕がない。レッスン後にそれぞれ少数で気づいたことなどを話し共有している。	レッスン終了後にはメイン・サブコーチで内容について振り返りを行っています。レッスンの終了時間によっては次のレッスンが始まる場合があるので、時間通りにレッスンを開始・終了できるよう心がけます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	記録の為の人員を確保している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	管理者・自発管を中心に行っている。	
関	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	管理者間で分担して行っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2	0	・不明です。 ・管理者間で分担して行っている。	他の事業所を中心に、子ども行政機関の相談員や保健師、スクールソーシャルワーカーとの連携を取りながら支援を行っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2	0	医療的ケア児、重心児が在籍していないと思う。	レジスポ利用中に医療ケアが必要なお子さんがいた場合、必要に応じて保護者さんを通じて連携を図ります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2	0	在籍していないと思う。	レジスポ利用中に医療ケアが必要なお子さんがいた場合、必要に応じて保護者さんを通じて連携を図ります。

**児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)**

公表:令和6年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:6(パート含む) 回収数:6 割合:100%

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	0	管理者・児発管を中心に行っている。	管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加もしくは文書などで情報共有を実施しました。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	0	管理者・児発管を中心に行っている。	管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加もしくは文書などで情報共有を実施しました。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	0	管理者を中心に行っている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	1	0	提供時間以外でサークルなどを通して交流を行っている。	サークルやスクール活動で障害のない子(兄弟、いとこ)を受け入れております。また、地域のスポーツクラブとのスポーツ交流ができるように企画調整していきたいと思っております。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2	0	把握していない	児童発達支援管理責任者が定期的に行われる西原町の連絡会(自立支援協議会子ども部会の準備中)へ積極的に参加しています。内容について事業所内で共有したいと思っております。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	レッスン前・後、保護者会など様々な機会を見つけてコミュニケーションを取り相互理解に努めている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	0	人員不足・時間的余裕がないなど、保護者への支援が十分ではないと思う。	・過去にペアレント・プログラムを開催していた経験のある職員を中心に、人員体制が整った後企画していく予定です。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	管理者・児発管を中心に行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	0	管理者・児発管を中心に行っている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	管理者・児発管を中心に行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	0	保護者会を通じて連携を取れる機会を提供している。	
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	常に保護者からの連絡・相談は迅速に管理者に伝え、対応を行っている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	月刊誌を発行 LINEを活用し発信	
38 個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	0	契約時・写真を撮る時など、常に保護者に確認を取っている。		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:6(パート含む) 回収数:6 割合:100%

チェック項目		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0	言葉によるコミュニケーションのほかは十分ではないと思う。	掲示物やご意見箱、LINEなど、直接的以外の情報伝達の機会を提供しています。その他、よりスムーズな意思疎通や情報伝達を行う方法を積極的に取り入れていきます。
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	0	把握していない。	現在地域住民と交流する機会はありませんが、今後地域のイベントや交流する機会等があれば地域連携を検討していきます。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	0	室内掲示をし、周知している。	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	年2回の避難訓練の実施を行っている。	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	0	年度替わり時に、状態や様子を保護者に用紙に記入してもらい確認・共有している。	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	アレルギー児を把握し、配慮したおやつを準備している。	食物アレルギーは契約時のほか、定期的に保護者を通じて把握し、必要に応じて医師の指示書を活用します。食事の提供はありませんが、おやつを手渡す際には保護者さん確認の元お渡ししています。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	作成し、事務所に保管・共有している。	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	研修をし各自が意識を持って接している。	
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	0	契約時に周知し、同意を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。